

# すまいるたん



発行元  
東京新聞  
南千住東口専売店  
TEL5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL090-2657-0300

子育て中のお母さん、お父さんへ  
できることから無理なく始める  
まめまめボランティア

「時間的余裕がない」「活動する日や時間に都合が悪かった」「参加方法などの情報が得られなかった」

これはボランティア活動に参加しようと思った人の参加しなかった理由です。(平成30年度 都民等のボランティア活動等に関する実態調査 調査結果より) 年齢別で見ると20代30代男性・20代女性などの子育て世代の参加は低調でした。

「ちょっとしたことが喜ばれます。」  
まめまめボランティアは時間的余裕がない子育て世代に、気負わず誰でも気軽にできる地域活動やボランティア活動の情報発信を行っています。

「紙おむつと粉ミルクを集めています」

ちよこつとできることの一つにサイズが小さくなって不要になった紙おむつ(開封可)や粉ミルク(未開封で消費期限2ヶ月以上、試供品可)の寄付があります。ほんの少しでも助かります。

これは、諸事情で経済的に厳しい家庭



の子どもの成長に役立ちます。

「使用済み切手、書き損じハガキの寄付は海外の保険医療協力になります」

使用済み切手5千枚を換金すると約千八百円これは例えば、タンザニアの看護学校の一年分の教科書代になります。ちりも積もれば山となります。積み重ねが大きな支援となります。

『心が変われば、態度が変わる。』

態度が変われば、行動が変わる。

行動が変われば、習慣が変わる。

習慣が変われば、人格が変わる。

人格が変われば、運命が変わる。

運命が変われば、人生が変わる。』

(出典ヒンズー教の教え 名言から学ぶ幸せのヒント)

私たちはごみ捨て場を掃除してくれる人、エレベーターのボタンを押してくれる人、声をかけてくれる人、地域の方たちの色々な優しさに囲まれて生活し助けられています。

「笑顔が笑顔を生む」

育休中に子どもとだけの狭い世界ですトレスが溜まっていたけど、別の居場所を持ち、息抜きができたという話もあります。

動くことで人と場の出会いがあります。会社や家庭だけでなく、別の場所を作ることでほっと一息できる空間ができるの

ではないでしょうか。

書き損じのハガキ一枚でもご持参ください。そこから新しい出会いがあり、笑顔が生まれます。

子育て中のお母さん、お父さん、「まめまめボランティア」のフェイスブックにフォロー登録して、新しい年を迎えるにあたり、地域に一步踏み出してみませんか。

紙おむつ、粉ミルク、使用済み切手、書き損じはがきの寄付はどなたでもできるボランティア活動です。寄付は荒川区社会福祉協議会3階で受け付けています。

同じ3階には「荒川おもちゃ図書館」があります。お子さんと一緒に遊びに来た際やお買い物ついでにぜひお立ち寄りください。

また、すでに子育て中の方が地域で取り組んでいるボランティア活動の情報がありましたら、ご連絡ください。フェイスブックで紹介したいと思います。

荒川区社会福祉協議会

まめまめボランティア担当

荒川区南千住1-13-20

(南千住第三幼稚園の上 3F)

TEL 3802-2794

FAX 3802-3338

まめまめボランティア Facebook QRコード

